

# 二十歳の門出を祝う



二十歳を迎えた皆さんの門出を祝し、「令和8年米子市二十歳（はたち）を祝う会」を、1月3日に米子コンベンションセンターで開催しました。

市内在住で今年度二十歳を迎えるのは平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれの方で、計1,292人でした。祝う会には1,092人の二十歳を迎える方が出席し、社会人としての決意を新たにしました。

閩生涯学習課（☎ 23-5442）

## 令和8年二十歳を祝う会記念感想文 入賞者

最優秀賞 むらお ことね 村尾 采音 さん「これまでの歩み、これからの歩み」

優秀賞 さわだ わかな 澤田 若菜 さん「二十歳の私が見る世界」

入選 たなか 田中 いちか さん「感謝の舵」

入選 やまもと そうま 山本 蒼舞 さん「自衛隊生活」



## 米子市二十歳を祝う会協賛企業一覧

寿製菓株式会社、株式会社大山どり、鳥取西部農業協同組合（JA とっとり西部）、株式会社稲田本店、株式会社米子高島屋、大山乳業農業協同組合、株式会社中海テレビ放送、有限会社京都屋、株式会社目久美、株式会社カンダフードカンパニー、hair make DANCE、米子商工会議所青年部  
協賛企業の皆さま、ありがとうございました。



これまでの歩み、これからの歩み

村尾 采音さん

二十歳を迎えるにあたって、二十歳を振り返ってみると、好きなことや打ち込めるものに出会い、自分らしく歩むことのできたかけがえない日々でした。

特に、空手との出会いが今の私を創り上げたと言っても過言ではありません。小学校四年生の秋、鳥取県立武道館で行われた空手の体験教室に参加してから約十年。私は空手を通して「自分と向き合う力」を身につけてきました。私が行っていた形競技は、仮定の敵に対する攻撃技と防御技を一連の流れとして組み合わせた「演武」で、その美しさや正確さを競います。そのため日々の練習

では、力強く鋭い技を出すために基礎的なトレーニングで体づくりをしたり、美しく正確な形にするために

何時間も鏡と向き合ったりして、一つ一つの技に磨きをかけていきました。練習は苦しいことも多かったですが、自分に打ち勝つことができた

時、自分の中で大きな自信となりました。また、共に練習してくれる仲間たちや指導者の方々との出会いから、「人とのつながりの大切さ」を学びました。高校時代は、空手と学業との両立の難しさを感じることもありましたが、仲間と大変さを分かち合い、励まし合えたことで、ずっと空手が好きなままの自分であることができました。指導者の方々は私の年齢に応じた役割を与えてくださり、一人の人間としても成長させてもら

いました。空手を通して出会った人

たちとのつながりがなければ、ここまで空手を好きでいたり、打ち込んだりすることはできなかったと思います。二十歳を迎える今、これまで自分を支えてくれた全ての人への感謝の気持ちが湧いています。

現在私は大学で看護について学んでいます。専門的な知識に面白さを感じ、一方で、複雑で膨大な量の学習内容に頭を抱えることも度々あります。しかし、これまで身につけてきた「自分と向き合う力」のおかげで、授業や実習での学びを振り返ったり、自分を客観的に見つめ直したりすることができ、よりよい看護実践について考え、行動しています。また、実習で仲間と教え合ったり、支え合ったりしながら学ぶ中で、「人とのつながりの大切さ」を改めて実感しています。悩むこともありますが、共に高め合うことのできる仲間の存在に助けられ、日々楽しく学んでいます。

がりの大切さ」を改めて実感しています。悩むこともありませんが、共に高め合うことのできる仲間の存在に助けられ、日々楽しく学んでいます。

私はこれから看護に携わる者として、そして一人の人間として、自分の芯を強く持ちながらも、人に優しく寄り添える大人になりたいと思っています。この理想に近づくために、これまでの二十歳で身につけてきたことを原動力にして、さまざまなことに挑戦し、自分に磨きをかけていきたいです。そして、二十歳間私を支えてくださった全ての方々への感謝を胸に、これからは自分が誰かを支えられる大人になれるよう、自信をもって一步を踏み出していきます。

